

第19回 日本文具大賞 受賞製品決定！



注目のグランプリは会期初日 7月7日に発表！

リード エグジビション ジャパン株式会社
ISOT事務局 広報担当 金井・西浦
TEL: 03-3349-8505 E-mail: kanaig@reedexpo.co.jp



機能、デザインに優れた文具・紙製品を選出する日本最大の文具アワード「第19回 日本文具大賞」の審査会が、6月9日、東京都新宿区で開かれました。国内外から寄せられた応募製品の中から、機能部門、デザイン部門で各5点の優秀賞が決定しました。この優秀賞の中から選ばれる注目のグランプリは会期初日の7日、ISOT 会場内で午後3時から開催する授賞式で発表します。各受賞製品は各社のブースはもちろん、ISOT 会場内の特設ブースでも展示されます。審査会での活発な議論の末、決定した受賞製品は以下の通りです。ぜひ本年を代表する文具の取材にお越し下さい！

デザイン部門 受賞製品



エーワン

@mark インデックスマーカー

インデックスをはみ出さずに表示するツール。見出しを記入したインデックスシールを貼り、ページごとに同色のマーカーシールを貼ることで色による検索ができます。キレイで邪魔にならないスマートな設計です。



おもちゃ箱

グルーヴグラフィット 12本入り

太めの三角形のグリップと水玉模様にはぐられた溝は、人間工学を基に開発され、少ない力でより効率的に握れることに加え溝により正しい鉛筆の持ち方に誘導してくれます。ヨーロッパではレッドドットデザイン賞受賞！



住友スリーエム

<スコッチ>チタンコートシザーズ

シャープな切れ味で、高硬度チタンコートにより上質紙を10万回切れる優れた耐久性能の高品質はさみです。



デザインフィル カードメモ

財布やカードケースのポケットに入れて携帯することを想定したカード型のメモです。中紙に薄くても、強度がありインクが裏抜けしにくいタイプライター用紙を採用し、31枚で約1.6mmの厚みを実現しました。



榛原

蛇腹便箋 跳びうさぎレターセット

蛇腹状の便箋で各折り目にミシン目が入り、書き終わったところで切って使用します。一筆箋にも、長文の手紙にもなります。記録紙の技術に伝統的な巻紙の発想を取り入れた、機能的な便箋です。便箋90枚綴 封筒10枚入。

機能部門 受賞製品



**カール事務器
ALISYS**

世界で初めて小型パンチに二重テコ構造を採用し、コンパクトなまま従来品に比べ穴あけの負荷を軽減させた2穴パンチ。ジャマにならない紙当てやフラットゲージなど機能性とデザイン性を追求しました。



**ゼブラ
Surari (スラリ)**

スラリは新技術 W/O型エマルジョンインクを搭載した世界初のボールペンです。油性のしっかりした手ごたえと、ジェルのさらさらした軽さを兼ね備え、なめらかな書き味と鮮やかで濃い筆記線を実現しています。



**ニチバン
テープカッター直線美®小巻用**

切断面のギザギザが少なく、まっすぐきれいにカットできるテープカッターです。凹凸の少ない新設計刃(特許出願中)により、テープを切る際の力が軽減でき(当社比)、作業性も向上します。5万回カットしても変わらない切れ味。



**パイロットコーポレーション
エラポー**

字幅の強弱が表現しやすい柔らかなペン先の万年筆。ソフトタッチでありながらもコシのある独特の書き味が特長。

**マルマン
書きやすいルーズリーフ ワイド**

横に開くと、約2倍の大きさになる画期的なルーズリーフ。ノートを見開きで使うように図表やアイデアマップが書け、プリントも貼れます。あらかじめ2つ折りされているので、そのままファイルに綴じられます。



日本文具大賞審査員 (日本文具大賞は下記の方々によって審査・選定されました)



デザインディレクター兼
大阪大学大学院教授
川崎 和男 審査委員長



オッティモ 代表取締役
プロダクトデザイナー
山本 秀夫 氏



ワールドフォトプレス
モノ・マガジン 編集長
品田 恭一 氏



徳間書店
ベスト・ギア 編集長
長谷部 敦 氏



樞出版社
趣味の文具箱 編集長
清水 茂樹 氏

～そのほかのエントリー製品（一部抜粋）～

エントリー製品の一部を抜粋し、ご紹介します。この中にはISOT会場で出展される製品もございます。ぜひ会場にお越し下さい！



オート



サンスター文具



明光商会



アピカ



コクヨS&T



プラチナ万年筆



堀金箔粉



ゼロ精工



トンボ鉛筆



アルト東京



東京紙器



アーニー



伊藤紙業



ピーアンドエー



紙和匠



エセルテジャパン



エヌエスプランニング



バニーイヤー



マックス



PRODIR



デザインファクトリー

取材申込

返信FAX先 ▶▶▶ **03-3344-2400**

ISOT 事務局
広報担当 金井・西浦 行き

貴社名	貴媒体名	お名前	
複数でご来場を予定される場合、その方のご氏名も右の空欄に、ご記入下さい。			
TEL	FAX	e-mail アドレス	
ご取材予定日に○をつけて下さい。	7月7日(水):	7月8日(木):	7月9日(金):

本リリースの問合せ

ISOT 事務局 金井・西浦
TEL: 03-3349-8505 FAX: 03-3344-2400

www.isot-fair.jp
Mail: kanaig@reedexpo.co.jp